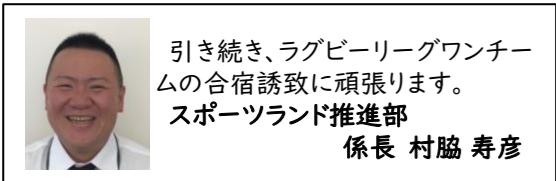


**災害ボランティア活動も!!
浦安D-Rocks 宮崎合宿**



引き続き、ラグビーリーグワンチームの合宿誘致に頑張ります。
スポーツランド推進部
係長 村脇 寿彦

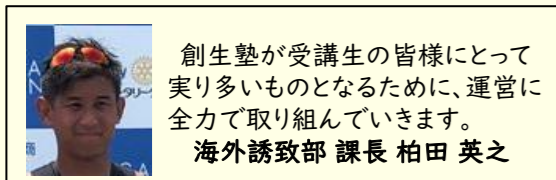


(左) 歓迎セレモニー後の記念撮影 (右) 選手・スタッフによる災害ボランティア活動の様子

ラグビーリーグワン ディビジョンIへ昇格する「浦安D-Rocks」が、9月1日から7日まで、ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場で合宿を行いました。
2日の練習前に、歓迎セレモニー&贈呈式を行い、当協会、宮崎市、県ラグビーフットボール協会、日本航空株式

会社宮崎支店から県産品などの贈呈を行いました。
また、9月4日には、台風10号の被害に遭われた地域において、選手・スタッフ合計26名が災害ボランティア活動を実施していただきました。
「浦安D-Rocks」の皆様、ありがとうございました!!

**今年も始まりました
観光みやざき創生塾**



創生塾が受講生の皆様にとって
実り多いものとなるために、運営に
全力で取り組んでいます。
海外誘致部 課長 柏田 英之



9月3日、今年度の「観光みやざき創生塾」が開講しました。
当協会が運営を担い始めてから4年目。この塾は、豊かな宮崎の未来を築くため、これからの本県観光を担う人材を発掘・育成し、更なる成長を目指して実施するもので、国内各地で活躍する講師陣を迎え、充実したカリキュラムにて実施しています。
今年度は基礎コースに26名、実践コースに9名の計35名が参加しており、講師陣の指導の下、12月の修了式まで、熱心に学んでいくことになっています。
(上) 開講式であいさつされる佐藤副知事。(中) 塾長を努める宮崎大学地域資源創成学部・桑野学部長による講義。(下) 第1回講義におけるグループワークの様子

新規採用職員です

7月から新たに3名が採用されました。
よろしくお祈りします。
【左から】
比江島香織・スポーツ合宿誘致・受入担当
(ひなたスポーツ観光ステーション担当)
奥松慧士・観光地域づくり推進担当
岩切万桜・観光地域づくり推進担当

■お問い合わせ
公益財団法人宮崎県観光協会 総務企画部
宮崎市錦町1番10号
宮崎グリーンズフィア壺番館
(KITENビル) 3階
TEL: 0985-26-6100
FAX: 0985-26-6123
E-mail: info@kanko-miyazaki.jp



**新たに入会いただいた
賛助会員を紹介します**

株式会社パスファインダー
代表者 富田 靖生
所在地 宮崎市
県内各所で、シャワークライミング(沢登り)のアクティビティを提供しております。

プリンス スマート イン宮崎
代表者 石毛 翔太
所在地 宮崎市
宮崎の新しい旅の拠点として、スマートなご滞在を提供いたします。

UPtoME バリアフリー
サークルみやざき
代表者 真北 聖子
所在地 宮崎市
障害当事者の目線から生きた情報を発信し、障害の有無を超えて共に「楽しむ」きっかけを提供する団体です。



日本のひなた宮崎県

宮崎県観光協会

ニュースレター

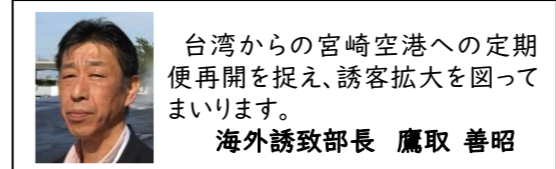
Miyazaki Prefecture Tourism Association News Letter

令和6年9月 (VOL.15) 発行
公益財団法人 宮崎県観光協会

皆様には日頃より当協会の事業・取組につきまして御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。
最新のニュースレターをお届けします。御一読いただけましたら幸いです。



**11月26日再開決定!!
宮崎ー台北線定期便**



台湾からの宮崎空港への定期便再開を捉え、誘客拡大を図ってまいります。
海外誘致部長 鷹取 善昭

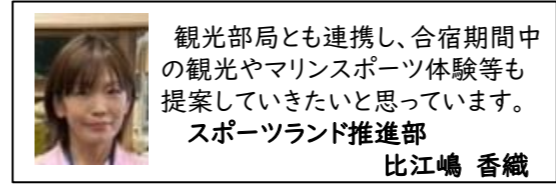
「宮崎ー台北線」の定期航空便が11月26日から再開されることになりました。同線はコロナ禍の中、令和2年2月から運休となっており、この間、当協会をはじめ県や関係機関が一体となって運行再開を働きかけてきた結果、この度、タイガーエアにより定期便として再開されることとなったものです。運行は当面、週1便(火曜日)ですが、今回の再開が、本県経済の活性化に大きく寄与するきっかけとなることを期待されます。



(上) (右) 台中で行われた商談会の様子
(左下) 今年2月、宮崎空港に着陸したタイガーエアのチャーター機

一方、当協会では隣県空港や福岡空港を利用する旅行者の本県への誘致拡大に向けた取り組みも進めています。
その一環として、9月には鹿児島県と連携して、台北と台中で商談会と交流会を実施しました。4日に開催した台北での商談会には本県から10団体12名・鹿児島県から24団体27名が、現地からは旅行会社33社とメディア2社の45名が参加、翌5日の台中での商談会にも現地の旅行会社33社が来場するなどネットワークの再構築に向け、確かな手応えを感じたところです。
今後とも、本県の定期便に他県の航路も組み合わせ、誘客促進に取り組んでいきます。

**スポーツ合宿の誘致促進へ
ひなたスポーツ
観光ステーション開設**



観光部局とも連携し、合宿期間中の観光やマリンスポーツ体験等も提案していきたいと思っています。
スポーツランド推進部
比江嶋 香織

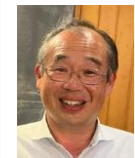
スポーツ合宿の更なる誘致促進に向け、9月から、協会内に「ひなたスポーツ観光ステーション」を開設しました。これは、2027年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けてプールやテニスコート等の新たな施設の整備が進む中、スポーツ合宿の受け入れ



(上) 9月2日に行われた開幕式の様子
(右) 除幕を行った宮崎県商工観光労働部観光経済交流局 佐野局長(左)と当協会鶴田専務理事(右)

体制を強化するために設置したもので、キャンプ・合宿の窓口を一本化し、スポーツ団体やチームとの結びつきを強めるとともに、市町村や宿泊施設等と効率的に調整を図ること、更なる合宿等の誘致や支援、ひいては本県の観光地としての魅力の発信に繋げていくこととしています。

修学旅行説明会&商談会 in名古屋、大阪、東京



魅力的なプログラム開発とPRを強化し、ターゲットを明確化したセールス活動を展開します。
国内誘致部 部長 後藤 英一

名古屋、大阪、東京で開催された、九州観光機構主催による九州7県合同の修学旅行説明会・商談会に参加し、宮崎の魅力をPRしました。

説明会では、熊本県、鹿児島県と連携した南九州3県のモデルルートを示すとともに、サーフィンやゴルフなどのスポーツ体験、水力発電や太陽光発電などのクリーンエネルギー学習、北きりしま田舎暮らしやツーリズム高千穂郷などの農家家業民泊体験といった本県ならではの魅力的なプログラムを紹介し、宮崎での修学旅行の実施をお願いしました。

学校や旅行会社は、バスの借上げ費をはじめとする全般的な物価の上昇から、コストカットに関心を示しているため、本県の「みやざき学び旅」助成制度などについて、詳しく説明を行いました。

また、説明会、商談会の前後には現地の学校や旅行会社を多数訪問し、旅行先として宮崎を選んでいただけるよう、セールス活動に取り組みました。

【開催日】

名古屋：8月6日、大阪：8月7日、東京：8月20日



(上) 修学旅行説明会&商談会東京会場、(下) 名古屋会場の様子。
東京会場では8日の地震の影響を心配する声もありましたが、被害は限定的であり、万一の場合の避難場所も確保されていること等を説明し、理解をいただきました。



(上) 九州観光素材相談会東京会場、(右) 大阪会場の様子

九州観光素材相談会 in東京、大阪



旅行会社の方々へ宮崎の魅力をしっかりとお伝えし、観光誘客に繋がります！
国内誘致部 主事 本田 聖真

九州観光機構主催の2025年上期観光素材相談会が8月21日に東京で、22日に大阪で開催されました。

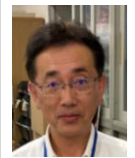
この相談会は、参加する旅行会社に、九州各県が最新の観光情報等をPRするもので、当協会も参加し、県内の最新観光情報や市町村から情報提供いただいた宿泊補助制度などを紹介しました。

次回は2025年2月に東京都内、大阪市内、福岡市内で開催されます。

一つでも多くの旅行商品を造成いただき、一人でも多くの観光客を誘客できるように取り組んでまいります。



JNTOインセンティブ 旅行相談会inソウル



MICEによる宮崎への経済波及効果を高めるため、海外からの企業インセンティブツアーなどの誘致に取り組んでいきます。
MICE推進局長 野尻 政嗣

昨年度再開した「宮崎-ソウル線」定期航空便を活用したMICE誘致活動として、8月28日にソウルで開催されたJNTO主催「韓国インセンティブ旅行商談会」へ参加するとともに、翌日には企業等の訪問を実施し宮崎への誘致PRを行いました。

現地のバイヤーからは「日本の大都市以外の新たな訪問先も検討している」との発言も多く、これをチャンスと捉え宮崎の魅力や様々な情報を伝えました。最近の国際会議などでは、オンラインによる会議も増えて



いる状況ですが、人と人が直接ふれあい、交流できるリアル会議のすばらしさを伝えることで、さらなる誘客を図っていきます。



(上) 相談会の様子(下) 抽選会も行われ、本県の特産品を贈呈しました。

関係機関との連携強化へ 市町村観光協会 ブロック会議 開催



観光振興に向け、市町村観光協会の皆様と力を合わせて取り組んでいきます。
観光推進局長 田原 幸治

8月26日から9月12日まで、宮崎、都城、延岡、日向の県内4か所で市町村観光協会ブロック会議を開催しました。

これは、5月に開催した「市町村観光協会等会長会議」において、各ブロック・地域ごにも意見交換の場を設けてほしい旨の要望があったことを受けて開催したものです。

会議には各観光協会の会長や事務局長、担当者等が出席、各地域・協会の取り組み内容、抱えている課題の解決策等について活発な意見交換を行いました。

ユニバーサルツーリズム 促進セミナー



ユニバーサルツーリズムのトップランナーを迎えてセミナーを開催します。参加御希望の方は当協会まで御連絡ください。
総務企画部 松本 和枝

当協会では、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行「ユニバーサルツーリズム」の推進に取り組んでおりますが、今回、三重県の伊勢志摩バリアフリーツアーセンターから講師をお招きし、「ユニバーサルツーリズム促進セミナー」を開催します。

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターは2002年に「日本初の着地型バリアフリー旅行案内センター」として設立され、以後、様々な事業に取り組み、日本のトップランナーとして活動をされています。今回はその取組に通じた貴重なお話を御紹介いただくことになっておりますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 令和6年10月9日(水) 午後2時から午後4時まで
- 2 会場 宮崎観光ホテル 東館3階 緋耀の間
- 3 内容 講演「バリアフリー観光からはじまるまちづくり人づくり」
講師 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長 野口あゆみ氏
ディスカッション「ユニバーサルツーリズムと観光振興について」
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長 野口あゆみ氏
UPtoMEバリアフリーサークルみやざき 代表 真北 聖子氏
(宮崎県観光協会 宮崎ユニバーサルツーリズムアンバサダー)

10/9
(水)

開催
間近!



講師：
伊勢志摩
バリアフリーツアーセンター
事務局長 野口あゆみ 氏

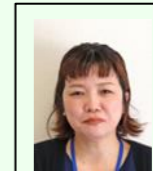
1971年三重県伊勢市生まれ。地元タウン誌編集部勤務後、フリーに。2000年、チェアウォーカー(車いす使用者)の友人らと共に、バリアフリー情報誌「おでかけチェアウォーカー」を発行。2002年、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター設立時に事務局長に就任。「行けるところを探るのではなく、行きたいところへ」を実現するために普段からチェアウォーカーである夫と歩いている。

UP to ME バリアフリー
サークルみやざき
代表 真北 聖子 氏



宮崎の魅力満載 2025年版 みやざき観光カレンダー

11/1
販売開始



今年も宮崎の魅力を詰め込んだ素敵なカレンダーができました。オフィスに、ご家庭に、贈答用に是非お求めください。
総務企画部 福島 奈津子

毎年好評の「みやざき観光カレンダー」。2025年版は昨年に引き続き、「フォトコンテスト」で写真を募集、県内外から寄せられた全528点の中から厳選された、宮崎の魅力満載の作品を使用して作成しています。

一般販売は11月1日開始(予定)で、1部あたり1,200円。宮崎市の「みやざき物産館KONNE」の他、県内外の観光施設等で販売します。詳しい販売場所は宮崎県公式観光サイト「みやざき観光ナビ」でご確認ください。



会議では各団体の取組など、本県の観光振興に向けて活発な議論が繰り広げられました。

観光振興を図る上で、各地域における課題は様々であり、地域の実情に応じた個別の対応が不可欠です。

当協会では、今後とも市町村協会と密接に連携し、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業の展開に繋げていくことで更なる観光客の誘致に繋がっていきたく考えています。